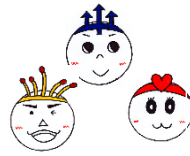


研究だより



長岡京市立長岡第十小学校
重点研究部
令和5年9月

研究発表会に向けて

1学期、ギミックブラッシュアップシートや感情曲線など新しい取組に挑戦した長岡第十小学校。夏休みには、同じく非認知能力を研究している大阪府の泉南市立砂川小学校と実践の交流を行ないました。同じ非認知能力をテーマにしている、アプローチの仕方には違いがあり、大きな学びとなりました。この学びを、今後の研究に活かしていきたいところです。2学期の研究授業に向けた指導案検討会も行われ、より子ども達の学びを深めることができる授業内容になるように、教職員全員で効果的な授業展開やギミックについて考えました。岡山大学の中山先生にも再度来校いただき、授業の振り返りに関するアドバイスなどをいただき、授業終わりの活動についても深く考えることができました。



3年生の取組

3年生では、す(進んで勉強)、て(手を取り合って支え合い)、き(協力する)の頭文字をとって、「すてき」な人たちになろうという学年目標を設定し、日々活動に取り組んでいます。

総合的な学習の時間

3年生は、社会や理科、書写など、新しい学習が始まりました。自分の興味関心のあるものについて調べ、まとめて、それを周りに伝える、総合的な学習の時間も始まりました。

1学期には、長岡京市の名産である「ナス」と「筍」に関して不思議に感じたことについて調べました。筍掘り体験やナス農家の方へのインタビューなどの活動をしながら学びを深め、自分なりにまとめ、学年のみんなに発表することができました。



ナス農家の松井さんに、不思議に思っていたことを聞けて、分からないことが分かった。



周りに分かりやすいように、絵本にしてまとめました。物語や絵を考えるのが大変だったけど、がんばって作りました。



体育大会

10月の体育大会に向けて演技発表の練習が始まりました。3年生は「エイサー」に取り組んでいます。各組から選出された「おどりリーダー」が休み時間を使って、先に練習し、練習時にミニ先生として、振り付けが難しく困っている友だちに教えてくれています。練習期間は決して多くはない分、子ども達同士でも教え合い、密度の濃い練習にし、本番すばらしい発表になるように準備しています。



難しい振り付けを覚えるのは大変だけど、困っている人に教えられるように、がんばって休み時間に練習しました。



困っている子に、「こうやるんだよ」と教えて、上手くてできるようになって「やった、できた!ありがとう!」と、喜んでもらえてうれしかった。

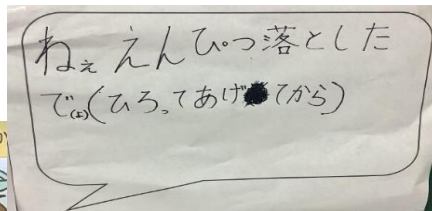


理解教育



各学年、発達段階に応じて理解教育を実施しました。5年生は、発達の仕方に違いがあることを知り、周囲ができる支援や関わり方について考えました。そして、具体的な学級場面から自分たちのより良い関わり方について考えました。

親切してるのにおこってる!なぜ?どうすればよか



- ・だれかに何かを伝えるために、言い方や行動をよく考えてからすることが大切だなと思いました。
- ・みんな一人ひとり、ちがっていいんだと思いました。みんなと助け合っていきたい、こまっている人がいれば助け、自分がこまっていたら、助けをよぶ。

